



# ながおか

## 市政だより

### 特別号

平成19年7月22日発行

発行：長岡市 編集：広報課  
〒940-8501 新潟県長岡市幸町2の1の1 TEL0258-35-1122 (代表)  
http://www.city.nagaoka.niigata.jp

## Viva! 地球広場!

長岡工業高等専門学校2年  
金子将之さん



市民センターの地球広場。自分にとってなくてはならない場所です。外国籍の人はもちろん、学外の同世代の若者と話ができるところも魅力です。なにより交流が楽しいし、自分の勉強にもなってます。公会堂や屋根付き広場で、何か新しいプログラムができないか、あれこれアイデアを考えると今からワクワクしますね。

## 広場でステップ いいですね



フォークダンスサークル「アンティーズ」のみなさん

まちの中心にある厚生会館は、私たちの大切な集いの場。だから、厚生会館が「平成の公会堂」に生まれ変わるんだと聞いて、本当に安心しました。真新しい公会堂のフロアで踏むフォークダンスのステップ。今からとっても楽しみです。屋根付き広場でダンスフェスティバルなんていいですよ。市民の広場に夢がふくらみます。

# 和と輪広がる市民の広場 シティホールは

## 広がる人の輪、輝く子どもたちの目



▲ロボット相撲で市民センターの子育てフェスティバルに参加

NPO法人  
にいがたエジソン学園  
代表理事  
高橋ゆたかさん  
学校では学べない科学やものづくりの楽しさを、子どもたちに体験させたいと活動しています。

市民センターでのイベント参加がきっかけで、他の団体との交流もはじまりました。同じ志を持つユニークな活動グループとのコラボレーションは、とても刺激的です。

私たちにとってシティホールは新たなステージ。子どもたちの笑顔をもっともっと広げたいですね。

## まちなかを「長岡の顔」に

社長岡青年会議所  
まちづくり委員会委員長  
大原邦夫さん



まちなかの変わりようにもっと関心を持って、声を上げていくことが大切です。

まちづくりが実を結び、28万市民が待ち望む姿になったとき、まちなかは、全国に誇れる「長岡の顔」になるのだと思います。

皆さん、まちなかの動きにご注目を。

## 市長に聞く!

# 市民協働のまちづくり

——合言葉は「市民協働」ですね。その「コ」は?

**市長** 市民と行政の垣根を取り払うことです。

まちづくりで大切なのは、市民と行政がお互いの得意な分野や特徴ある活動のギアを噛み合わせて、地域やまちの将来像に向かって協働して取り組むことです。まちづくりのパートナー同士ですから、垣根や敷居を取り払うことがなにより大事です。

——「市民協働型シティホール」って何ですか?

**市長** 市民やNPOなどの団体と行政が垣根を払って交流し、新たな価値を生み出す市民の広場です。

ハード面では、厚生会館地区にできる「平成の公会堂」、屋根付き広場、市庁舎が一体となった空間のことです。そこで重要になるのが、その使われ方、ソフト面の工夫です。市民の集まる場所に市長や市職員、議員がいる。そこでは、気軽にまちづくりの議論が交わされている。時には、仕事帰りに市民と市職員が、まちなかでまちづくり談議に花を咲

かせる。これが長岡市の目指す「市民協働型シティホール」です。



——協働のまちづくりはもう始まっているんですか?

**市長** ながおか市民センターがそのモデルです。開設から六年で、二〇〇万人の利用がありました。

「市民センターは役所らしくないところがいいね」と言われます。「用事がなくても、ついぶらっと入っちゃうよ」とも。「市民が育てる」は開設当初からのコンセプトです。市民センターは市民のアイデアを取り入れ、新たな機能を生み出し、今も進化を続けています。市民やNPO団体の活動の輪が行政とリンクして、協働の広場に成長しました。市民センターを通して、市民協働の広場が人をひきつけ、まちなかにぎわいを生むという確かな手応えを得ました。市民センターは「市民協働型シティホール」の原型なんです。